

第3章

事業計画の基本的な 考え方

1 事業計画の基本理念と4つの目標

子ども・子育て支援については、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指すとの考えを基本に、子どもの視点にたち、子どもの生存と発達が保障されるよう、良質かつ適切な内容及び水準とすることが重要です。

一方で、父母その他の保護者は、子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識を前提とし、また、家庭は教育の原点であり、出発点であるとの認識のもと、家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、それぞれの役割を果たし、子育てを支援する環境は整備されるべきです。

本事業計画では、これまでの「ベっぴ子ども次世代育成支援（後期）行動計画」で基本的な理念としてきた「湯けむりとぬくもりのなかで、子育てしやすいと実感できるまち」を継承し、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保と業務の円滑な実施を図り、一人一人の子どもが健やかに成長することができる社会の実現を図るため、本事業計画の基本理念と目標は、事業の一貫性という意味からも、「ベっぴ子ども次世代育成支援（後期）行動計画」と同じとします。

【基本理念】

『湯けむりとぬくもりのなかで、
子育てしやすいと実感できるまち』

【4つの目標】

- ① 夢を持って楽しく子育てできるまちづくり
- ② 地域全体で見守り支えあう子育て、親育ての支援体制づくり
- ③ 働きながら子育てするための環境づくり
- ④ 子どもが希望を持ち、誇りに思う郷土づくり

2 事業計画の施策体系

【基本目標】

【施策目標】



